

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年03月01日

計画の名称	緊急通行確保路線における無電柱化の推進（防災・安全）（3ヵ年緊急対策）												
計画の期間	令和02年度～令和02年度（1年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	沼津市												
計画の目標	緊急輸送路の無電柱化推進により、道路の防災性能の向上、通行空間の安全性・快適性の確保及び良好な景観形成を確保する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	57	A	57	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R1末)	中間目標値	最終目標値 (R2末)
1	対象路線の無電柱化により、計画区間における電線共同溝の整備率を0%（R1末）から17.2%（R2末）に向上させる。 電線共同溝整備計画延長に対する整備状況から電線共同溝整備率を算出する。 電線共同溝整備率（%）= 電線共同溝整備済延長（L） / 電線共同溝整備計画延長（L） × 100	0%	%	17%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	街路	一般	沼津市	直接	沼津市	S街路	改築	(都)千本香貫山線(市道0106-2号線)	電線共同溝 L=0.50km	沼津市						57	-	
		個別補助事業へ移行																	
											小計						57		
											合計						57		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
市内部審査会（各部長、まちづくり統括監で構成される審査体制）による評価を実施し、とりまとめた原案をもとに、沼津市事業評価監視委員会（有識者3名、公募委員2名による審査体制）による評価を実施。	令和4年1月
	公表の方法
	評価完了後、市のホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>・（都）千本香貫山線における電線共同溝整備計画延長500mに対し、工事着手初年度である令和2年度に、86mの整備を完了。</p> $\text{電線共同溝整備率}(\%) = \frac{\text{電線共同溝整備済延長}(L)}{\text{電線共同溝整備計画延長}(L)} \times 100$ <p>【目標値】 17.2% = 86.0m / 500m × 100 【実績値】 17.2% = 86.0m / 500m × 100</p> <p>これにより、計画区間における電線共同溝整備率を、0%（R1年度末）から17.2%（R2年度末）に進捗し、安全安心なまちづくりが図られた。</p> <p>引き続き、道路の防災性能の向上、通行空間の安全性・快適性の確保及び良好な景観形成を確保するため、計画路線の全体整備の整備に向け、今後も事業を継続し、早期に更なる効果の発現を目指すこととしたい。</p>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<p>本路線の整備に伴い、既設電柱の移設が完了したことで、道路の見通しが良くなり歩行者の安全性の向上が図られたほか、景観の向上に寄与した。また、無電柱化を推進し電柱の倒壊や電線の切断による道路閉鎖の恐れを軽減したことで、防災性能の向上が図られたと考える。</p>
特記事項（今後の方針等）	
<p>本事業箇所は、沼津港から東名高速道路沼津インターチェンジへの第1次緊急輸送路に指定されており、地震等による電柱倒壊等の道路閉塞を解消した防災性能の向上が必要な路線である。また、沼津港は世界遺産である富士山を望める眺望を有し、近年では年間166万人以上もの来訪者が訪れる賑わいを見せており、良好な景観形成や、歩行者の安全で快適な通行空間の確保を図るべき路線である。</p> <p>令和2年度より整備工事に着手したが、令和3年度（令和2年度補正予算）からは『無電柱化推進計画事業補助制度』へ移行し、引き続き、より重点的な支援を受けながら事業を進める。</p>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	17%
	最終実績値	17%

社会資本総合整備計画（参考図面）

計画の名称 P119 緊急通行確保路線における無電柱化の推進（防災・安全）（3ヵ年緊急対策）

計画の期間 令和2年度（1年間）

交付対象 沼津市



沼津駅

119-A01-001
(都)千本香貫山線(市道0106-2号線)

沼津港

凡 例
基幹事業
関連社会資本整備事業
効果促進事業

※その他関連する事業 灰色の塗りつぶし